

こわだ防災

Vol, 3 2017年10月

小和田地区自治会連合会

赤松 自治会	〈 130 世帯〉
赤松町自治会	〈 540 世帯〉
新宿 自治会	〈 990 世帯〉
本宿 自治会	〈1,560 世帯〉
菱沼小和田自治会	〈1,200 世帯〉
プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会	〈 100 世帯〉
連合会長 新倉昭人 加入数	〈4,520 世帯〉

第18回 小和田地区防災訓練

2017（平成29年）10月15日（日）雨天実施

小和田地区自治会連合会は毎年1回6自治会による防災訓練を行っています。
今回の防災訓練は 震度6強の地震が起こった想定で避難所を小和田小学校に立ち上げ9種目の訓練が行われました。当日はあいにくの雨で運動場は水びたし。テント設営も困難でした。

各自治会毎に一時集合場所を決め、集合し8:30までに小和田小学校へ徒歩で移動します。

訓練種目（体育館・運動場）

- ① 地区防災拠点（避難所）運営訓練
- ② 災害対策地区防災拠点訓練
- ③ 応急救護訓練
- ④ 救出救護訓練
- ⑤ 水消火器訓練
- ⑥ 移動式ホース格納箱取扱い訓練
- ⑦ 応急給食訓練
- ⑧ 避難誘導訓練
- ⑨ テント組立収納訓練



終日雨に降られたグラウンド

開会式 連合会新倉会長の開会の挨拶に続いて、服部市長、警察署安全課課長、小和田小学校校長、他のご挨拶をいただきました。



参加総数・・・461名（内 中学生110名）
赤羽根中学、松林中学の生徒達が多数参加して若い力が活躍しました。
訓練の司会進行は赤羽根中、放送部の生徒たちに参加してもらい活気がある訓練になりました。

毎年 訓練会場に医療生協の方々の参加をお願いしています。血圧や心拍数など測ってもらうことができます。





災害対策地区防災拠点訓練

地域単位の安否・災害情報⇒地域防災拠点へ⇒配備職員が集約⇒MCA無線で災害対策本部へ報告⇒本部から市の対応等を配備職員へ伝達⇒防災拠点で情報を共有⇒トランシーバーで地域へ伝達

応急救護訓練（三角巾の使い方の習得）

- ・たたみ三角巾の作り方（八つ折り）
- ・三角巾の結び方と解きかた（本結び）
- ・提肘固定三角巾の手順
- ・上肢（腕）の骨折や脱臼のときレジ袋の活用



救出救護訓練

- ・一人搬送法（1対1で引きずるもの）
- ・簡易担力（毛布を丸めて行う）
- ・担力棒と毛布の布式簡易担力等 3種類の訓練

初期消火訓練

災害時の火災はまず初期消火が大事。家庭用小型の消火器の使い方を熟知すること、『火事で～す』と大声で叫ぶこと等の訓練を受けました。



移動式ホース格納箱取扱い訓練

今回初めて実際の消火栓を使い、蓋を開けるところからホースの接続、放水までの訓練を行った。消火栓への接続は見学するだけだったが実際に使えるよう今後も訓練を続けることが必要。

応急給食訓練

雨の中、狭いテントで500人分くらいの分量の豚汁を作ります。

屋外はとても寒く、皆さん黙々と働いていました。反省会では細かな意見が出てきました。それを次回に引き継いでゆきたいと思います。

